

提供するサービスの第三者評価の実施

1 直近の実施年月日

令和7年3月15日（土）

2 実施した評価機関の名称

社会福祉法人公風会 児童発達支援センター 通園あるば 外部評価委員会

3 外部評価委員会資料

○令和6年度 児童発達支援（公表分）

事業所における自己評価総括表

事業所における自己評価結果

保護者等向け 児童発達支援評価表

○令和6年度 保育所等訪問支援（公表分）

事業所における自己評価総括表

事業所における自己評価結果

保護者等向け 評価表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

○令和6年度 通園あるばの振り返り資料

○令和6年度 研修実績資料

○支援プログラム

○障害児相談支援事業 事業計画書（令和7年3月）

4 評価結果の内容（意見要旨及び改善目標）

（1）地域障害児支援体制中核拠点について

＜意見要旨＞地域の障害児支援体制の状況等を調査するために、和歌山市の西保健センターや保育こども園課等との連携をもう少し密にしてみようか。

＜改善目標＞地域の中核拠点となるよう新年度から積極的に連携を取っていきます。

（2）障害児相談支援事業の実施について

＜意見要旨＞西保健センター管内には多くの児童発達支援事業所、保育所、幼稚園や認可外の保育所も存在しているので、事業を実施する前に調査と連携が必要ではないか。

＜改善目標＞相談支援事業がスムーズに実施できるよう新年度から調査するとともに積極的に連携を取っていきます。

（3）保育・療育の強化について

＜意見要旨＞通園あるばが開園して2年が経過するので、一度、保育・療育内容が似ている他の児童発達支援センターで研修を行ってほしい。

＜改善目標＞他の児童発達支援センターと協議していきたいと考えています。

＜意見要旨＞課題のある児童・保護者等のケースについて、保健センター等との連携をもう少し密にしてみようか。

＜改善目標＞保健センター等とケース会議を持つなど連携を密にしていきたいと考えています。

＜意見要旨＞評価表の「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか」については、現在実施できていないので、まず年長クラス（さくらグループ）からでも交流を始めてはどうか。

＜改善目標＞保育所等と協議し、新年度から実施できるよう取り組んでいきます。

＜意見要旨＞評価表の「きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか」についても交流ができていないので、難しい事項ですが実施に向け検討してください。

＜改善目標＞運動会などの機会を通じて支援していきたいと考えています。

（４）保護者等との連携の強化について

＜意見要旨＞「通園あるばだより」でも防災訓練等の様子などを掲載しているが、保護者等には伝わっていないかもしれない。HUGシステム導入をしており、システム内のサービス提供記録などでも写真を保護者等に送れるので、通常の保育や避難訓練時の様子、季節の行事などについて、もっと保護者あてに発信し連携を深めたらどうか。

＜改善目標＞新年度からHUGシステム等を通じて今まで以上に写真などでも発信していきたいと考えています。

（５）研修後の強化について

＜意見要旨＞多くの研修を実施し、職員から研修報告書を提出しているが、研修を受けるだけではなく、研修の内容を深めるために、研修後に職員同士でディスカッションをしてはどうか。（例えば、発達検査の結果の報告について、研修後に職員同士で個別の内容を深める。外部講師を招いた研修後に職員同士で研修の内容を深める。など。）

＜改善目標＞新年度から取り組んでいきます。

＜意見要旨＞各グループ（チーム）で、自分たちが受け持っている児童について、それぞれの児童の特性等について、もっと理解を深めたらどうか。

＜改善目標＞新年度からさらに取り組んでいきます。

（６）具体的なマニュアルの作成について

＜意見要旨＞種々マニュアルを整備しているが、例えば、自動車事故等の発生時のマニュアルについて、もう少し具体的な内容を記載し作成してはどうか。

＜改善目標＞現在のマニュアルの内容について、再度精査し必要な事項から取り組んでいきます。

以上、外部評価委員から評価（意見）があり、全職員と評価（意見）の内容を共有するとともに、改善目標として、平成７年度中に具体的に取り組むこととしました。

５ 評価結果の開示

令和７年６月５日、通園あるばのホームページ上で公開しました。